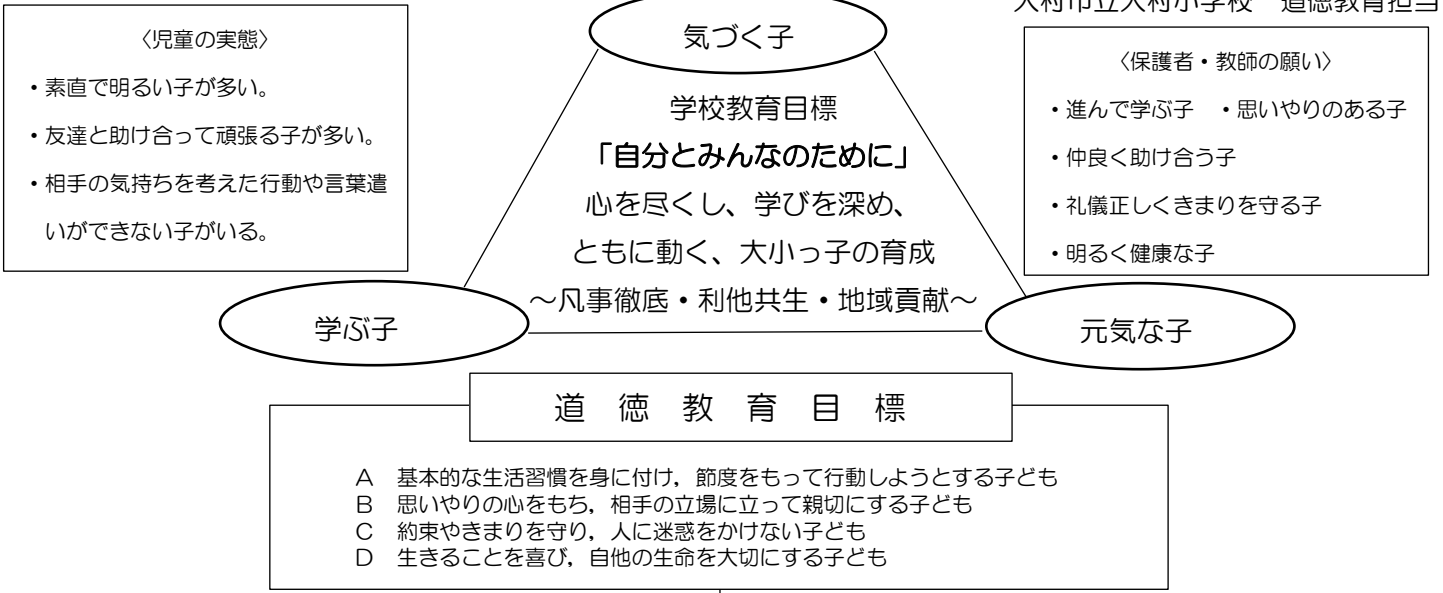




道徳科授業	道徳科の目標：道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
-------	---

学 年 部 の 重 点 目 標			
低学年	中学年	高学年	特別支援部
A身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 B思いやりの心を持ち、気持ちよいあいさつや言葉遣いに心がける。 Cみんなで使う物の正しい使い方を知り、約束やきまりを守る。 D全ての生き物に命があることを知り、生命を大切にする。	A自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする。 B礼儀の大切さを知り、進んで親切にする。 Cきまりを守り、進んでみんなのために働く。 D生命の尊さを知り、自然や動植物を大切にする。	A自分の生活を見直し、自律的に判断し、責任のある行動をする。 B誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。 C法やきまりを守り、誰に対しても公正、公平に接し、よりよい社会をつくるために自分にできることをする。 D生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。	Aよいと思うことを自分から進んで行う。 B友達と仲良く接し、助け合う。 C働くことの大切さを知り、みんなのために働く。 D生き物には命があることを知り、生命を大切にする。 ※個に応じた指導や支援を行う時間あり

総合	教 科	外国語活動 外国語科	特 別 活 動				家庭や地域との連携
学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。	体 家 図 音 生 理 算 社 国 育 庭 工 楽 活 科 数 会 語 教科の本質を追求し、基礎学力の充実を図る。 物語・伝記を通して道徳的心情・判断力を養う。 正しい社会観の育成を通して人類愛へ。 よく考える態度・合理性を培う。 生命や自然に対して畏敬の念をもち、探求心を培う。 基礎的生活習慣、生活技能、自立への基礎を養う。 感受性、協調性、明朗性を養う。 美的情操、仕上げる根気、創造性を養う。 家庭愛、礼儀、協力する工夫を養う。 集団の規律、公正な態度、根気、協調性を養う。	外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	学級活動 ①学級や学校における生活づくりへの参画 ②日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ③一人一人のキャリア形成と自己実現	児童会活動 自発的、自治的な話し合い、実践活動を通して自主性、協力、責任感を養う。	クラブ活動 自主的、社会性、創造性を養い、個性の伸長を図る。	学校行事 行事活動を通して、集団生活の規律、協力的な態度と責任感を養い、学校生活を楽しく送ることができるよう工夫する。	○学校・家庭・社会の連携こそ道徳教育の最大効果である。 ○道徳教育の内容を知らせ、理解と協力を図り、指導の一貫性をもつ。 ○家庭や地域社会の道徳的水準の向上を図る。